



海上保安庁公式サイト

海上保安庁  
公式  
Instagram



海上保安庁  
公式  
YouTube



海上保安庁採用サイト

海上保安庁  
採用 X



海上保安庁  
公式 X



お問い合わせ

海上保安庁総務部  
教育訓練管理官

〒100-8976 東京都千代田区霞が関 2-1-3  
TEL: 03-3591-6361 (代表)



2024年12月作成



入学  
案内  
20  
25

# 海上保安大学校 海上保安学校

Japan Coast Guard Academy & School





# 「平和で美しく豊かな海」を守る

四方を海に囲まれた海洋国家日本。

我が国は、海から多くの恩恵を受け

海上輸送や海洋資源の開発を通じて

国家の発展を遂げてきました。

我が国にとって、「平和で美しく豊かな海」を守り続けること

これが海上保安庁の使命です。

海上では日々様々な事案が発生していますが

今、この瞬間も、海上保安官は日本全国あるいは世界の海で

崇高な使命に誇りをもち、

「正義仁愛」の精神で任務にあたっています。

Japan Coast Guard

海上保安庁とは？ …… 4

海上保安庁の任務は？ …… 6

海上保安官の職場は？ …… 8

よくある質問 現場編 …… 10

海上保安官になるには？ …… 13

よくある質問 海上保安大学校・海上保安学校編 …… 14

採用試験 …… 16

海上保安大学校 …… 18

本科／カリキュラム …… 20

初任科／カリキュラム …… 24

実習・学生生活ほか …… 26

卒業生の声 …… 34

海上保安学校 …… 36

カリキュラム …… 38

実習・学生生活ほか …… 48

卒業生の声 …… 56

海上保安庁の職種紹介 …… 60

キャリアアップモデルコース …… 62



## 海上保安庁 とは？

海上の警察と  
消防などの様々な  
役割を担います。

A

海上保安庁は、国土交通省（旧運輸省）の外局として1948年に発足しました。以来、海上や沿岸における犯罪の取締り、領海警備、海難救助、環境保全、災害対応、海洋調査、船舶の航行安全などに取り組んでいます。いわゆる海上での“警察”や“消防”に加え、海洋環境保全や海洋調査の役割を担っています。

- 領土…約38万km<sup>2</sup>
- 排他的経済水域…約405万km<sup>2</sup>
- 領海…約43万km<sup>2</sup>
- 延長大陸棚…約31万km<sup>2</sup>

## 海上保安庁が 守るエリア



# 海上保安庁の 任務は？

## 生命を救う

海上保安庁では、海の危険性や自己救命策確保の必要性について国民への周知・啓発活動を行い、海難の未然防止に努めています。海難が発生した際には、強い使命感のもと、迅速な救助・救急活動を行い、尊い人命を救うことに全力を尽くしています。

## 災害に備える

海上での災害には船舶の火災、衝突、乗揚げ、転覆、沈没などに加え、それに伴う油や有害液体物質の排出といった事故災害と、地震、津波、台風、大雨、火山噴火などによる自然災害があります。海上保安庁では事故災害の未然防止のための取り組みや、自然災害に関する情報の整備・提供なども実施しています。災害の発生時には関係機関とも連携して、被害を最小限にするよう取り組んでいます。

## 治安の確保

「海」は海上輸送の交通路であり、水産資源等を生む漁業等の活動の場となっているだけでなく、国の治安を脅かすテロや密輸・密航、漁業秩序を乱す密漁など、様々な犯罪行為が行われる場にもなります。海上保安庁では、海上で行われるこうした様々な犯罪行為の未然防止や取締りに努め、安全で安心な日本の海の実現を目指します。

## 海を知る

海洋権益の確保や海上交通の安全、海洋環境の保全や防災のために、海洋に関する詳細な調査を実施し、得られた情報を適切に管理・提供していくことが不可欠です。海上保安庁では広域かつ詳細な海洋調査を計画的に実施し、情報を適切に管理・提供することで、海洋権益の確保や海上の安全を図る役目を担っています。

## 領海・EEZを守る

尖閣諸島周辺海域では、ほぼ毎日、中国海警局に所属する船舶の活動が確認されるなど、我が国周辺海域は依然として厳しい情勢が続いています。海上保安庁では、国際法や国内法に基づき、昼夜問わず外国公船、外国海洋調査船による活動や、外国漁船などによる違法操業の監視などを実施しています。

## 海上交通の 安全を守る

日本の周辺海域では、毎年約1,900隻の船舶による事故が発生しています。ひとたび船舶事故が発生すると、尊い人命や財産が失われるとともに、経済活動や海洋環境に多大な影響を及ぼすこともあります。海上保安庁では、船舶が安全に航行できるよう、光や電波を利用した航路標識の整備・保守や海の安全情報を提供するなど、海上での事故を防ぐため、様々な安全対策を実施しています。

## 青い海を守る

私たちの共通の財産である海を美しく保つため、海洋汚染の状況調査、海上環境関係法令違反の取締りを行うとともに、「未来に残そう青い海」をスローガンに、海洋環境保全に関する指導・啓発などに取り組んでいます。

## 海をつなぐ

海の安全確保のために諸外国の海上保安機関との間で、多国間・二国間の枠組みを通じ、海賊、不審船、密輸・密航、海上災害、海洋環境保全、海上交通の安全といったあらゆる課題に取り組んでいます。また、法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の維持・強化を図るとともに、シーレーン沿岸国の海上保安能力向上を支援するほか、国際機関と連携した様々な取り組みを行っています。

# 海上の安全および 治安の確保を 図ること。





## 海上保安官の 職場は？

## 海 船艇

- 航海科職員 操船、見張り、航海計画の立案、船体の整備などを担当
- 機関科職員 エンジンの運転や整備、燃料油の管理などを担当
- 通信科職員 巡視船艇や一般船舶との通信、通信機器の整備を担当
- 主計科職員 庶務や経理、物品などの管理、調理、看護などを担当
- 運用司令科職員 情報の収集・分析、対処方針の立案・調整を担当
- 航空科職員 ヘリコプター搭載型巡視船に乗り、ヘリコプターの操縦や整備、航空通信を担当
- 観測科職員 測量船に乗り、日本周辺海域の観測・調査を担当

## 空 航空機

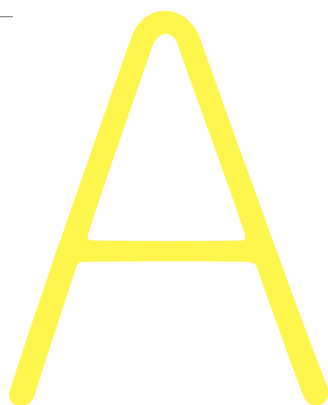
- 飛行科職員 航空機の操縦を担当
- 整備科職員 航空機の機体整備などを担当
- 通信科職員 通信機器の操作などを担当

## 陸 デスクワーク

- 総務業務 政策の企画・立案や総合調整、広報、職員の人事や福利厚生などを担当
- 経理補給業務 予算の執行、施設や物品などの管理を担当
- 装備技術業務 船舶の建造および維持に関する業務のほか、技術的事項の調査を担当
- 情報通信業務 情報通信システムの整備、管理などを担当
- 警備救難業務 領海警備や海上犯罪の捜査、海難救助、巡視船艇・航空機の運用調整を担当
- 海洋情報業務 海洋情報の収集・提供、海図の作製などを担当
- 海上交通業務 海上交通ルールの設定や航路標識の管理、海難の調査などを担当

海、空、陸、  
様々なフィールドで  
活躍できます。

海上保安官という言葉どおり、働く拠点の多くは海から近い場所にありますが、船の上で働く人は海上保安官の約半数。残りの半数は空や陸で働いています。このほか、特殊救難隊、国際捜査官、鑑識官、潜水土、機動防除隊、海洋調査官など各分野のスペシャリストとしてのキャリアパスも個人の能力や適性に応じて開かれています。





## よくある質問 現場編

### Q 海外勤務や 他機関への出向は ありますか？

A 希望と適性により大使館や国際機関などに出向する機会があります。出向先としては、中国・韓国・ロシアなどの近隣の国々に加え、東南アジア諸国や欧米などもあります。海上保安庁では、関係機関との人事交流を推進し、広い見識を備えた海上保安官の育成に努めるほか、さらなる関係機関との連携強化を進めています。

### Q どれくらいの頻度で 転勤がありますか？

A 人によってばらつきがありますが、2～3年の頻度で転勤があります。また、海上保安大学校本科・初任科、海上保安学校航空課程・管制課程・海洋科学課程・一般課程（航空整備コース）は全国転勤、海上保安学校一般課程（航空整備コースを除く）は管区内転勤となっています※。

※個別事情に応じた転勤となるよう可能な限り調整します

### Q 女性職員も 男性職員同様に 現場で活躍 していますか？

A 海上保安庁では、「カイゼン推進本部」を設置し、女性職員が活躍できる職場環境の整備を進めています。現在、女性職員の活躍の場は、巡視船艇や管区本部などでの勤務のほか、潜水土、国際捜査官、鑑識官、運用管制官、飛行士（パイロット）、整備士などの専門技術を駆使して活躍する職種から、海上保安部長や巡視船船長など、幹部職員としてその重責を担う職まで多岐にわたっています。

### Q 休みに旅行は できますか？

A 海上保安庁では事件・事故に対応するため、24時間即応体制をとっていますが、当番などを決めており、当番にあたらなければ旅行することもできます。

### Q どうやって 潜水土に なれますか？

A 海上保安学校卒業生は、現場配属後、まずは各管区で開催される選考会に参加し、潜水研修へ選抜されなければなりません。その後、2カ月間の研修を経て、潜水土になることができます。また、海上保安大学校卒業生も、希望と適性により潜水土になれます※。

※潜水土になった後は、本人の希望と適性により、機動救難士や特殊救難隊の道に進むこともできます

### Q 職種によって 給料は変わりますか？

A 給料は他の国家公務員と同様に法律で定められ、その職種によって一般事務職に適用される行政職や警備救難などの業務に従事する職に適用される公安職の俸給表により支給されます。大半の海上保安官は公安職の俸給表の適用を受けており、一般の国家公務員と比較すると高めの給与となっています。特に巡視船艇や航空機に乗り込む海上保安官や特殊救難隊などに所属する海上保安官には、その職務の特殊性によりさらに俸給の調整額が支給されます。

現場配属後の月収の例

[例1] 海上保安大学校本科卒  
大型巡視船主任、24歳  
公安職俸給表（二）適用：約30万円

[例2] 海上保安大学校初任科修了  
大型巡視船主任、26歳  
公安職俸給表（二）適用：約32万円

[例3] 海上保安学校卒  
大型巡視船士補、22歳  
公安職俸給表（二）適用：約27万円

その他、業務に応じた特殊勤務手当が支給されるほか、期末・勤勉手当（ボーナス）が支給されます。

### Q 土日は 休めますか？

A 週休2日制ですが、巡視船艇勤務は不定休です。陸上勤務は、基本的に土日・祝日が休日ですが、勤務先によって変わることもあります。また、緊急対応などで休日出勤することもあります。代休または手当が支給されます。

#### その他の休暇制度

年次休暇（年40日、うち20日を限度として翌年に繰越し可）／特別休暇（結婚、出産、忌引、夏季休暇、ボランティア休暇など）／病気休暇（負傷、疾病による場合）／介護休暇／育児休暇



#### その他 待遇

##### 公務員宿舍の貸与

全国各地に設置されている国家公務員宿舍が、公務上必要な職員には貸与されます。

##### 貸付制度

急に必要となった臨時の支出（結婚、進学、医療、災害など）や住宅を新築・増改築する際の資金を借りられます。

##### 宿泊保養施設

主な保養地や有名都市には、国家公務員共済組合連合会などが経営する宿泊保養施設があり利用できます。

##### 給付制度

病気・負傷の場合には、医療費などの一部支給が、出産の場合には、出産費の給付があります。また、国家公務員共済組合法に基づく、老齢厚生年金や障害厚生年金などの給付もあります。

##### 健康管理

全国の主要都市やその周辺には国家公務員共済組合連合会直営の病院が整備されています。また、年1回以上の定期健康診断（または人間ドック）が実施され、病気の早期発見、早期治療に努め、職員の健康管理が行われています。万一、公務上の災害、または通勤による災害を受けたときには、国家公務員災害補償法に基づく補償を受けられます。



# 海上保安官に なるには？

海上保安大学校、  
海上保安学校という  
選択肢があります。

A



海上保安官には、巡視船艇での勤務などの海上勤務だけでなく、本庁や管区本部などでの陸上勤務や海外での勤務など、様々な活躍の場があります。このような舞台上で活躍する海上保安官には、幅広い知識や技能だけでなく、特殊な業務を行うための専門的な能力も求められるため、海上保安官を養成するための教育機関である海上保安大学校や海上保安学校での学びが必要です。どちらも、学校という名前がついていますが、入学と同時に国家公務員としての身分が与えられます。そのため、海上保安大学校（本科）と海上保安学校（初任科）では毎月約20万円、海上保安大学校（初任科）では毎月約22万円の給与が支給されます。両校ともに全寮制で、規律ある団体生活を送ります。学生は、この団体生活を通じて、正義仁愛の精神、リーダーシップ・チームワークの体得や気力・体力の錬成を図ります。

幹部海上保安官になる  
→ 海上保安大学校 » p18

海上保安大学校（本科）〈受験資格：高校卒業後2年未満まで〉  
海上保安大学校（初任科）〈受験資格：大学卒業後30歳未満まで〉  
教育期間：4年9カ月（本科）、2年9カ月（初任科）

現場第一線の  
海上保安官になる  
→ 海上保安学校 » p36

海上保安学校〈受験資格：高校卒業後12年未満まで〉  
教育期間：1年～2年

## オープンキャンパス

海上保安大学校では6月頃と8月頃の年2回、海上保安学校では7月頃の年1回開催しています。

## オンライン説明会

月に複数回開催しており、現職の海上保安官のリアルな声が聞けます。また、各地で開催される就職・進学説明会などに参加させていただくこともあります。詳細は海上保安庁採用サイトにてご確認ください。





## よくある質問

### 海上保安大学校・ 海上保安学校編

#### Q 海上保安官に向いているのはどんな人ですか？

A 幅広い職種があるので、一概に向き不向きは言えません。強いて言うならば、多くの卒業生が初任地として勤務する巡視船艇は、一度出港すると数日帰れない場合もあり、また仕事を組織で進めていくので、チームワークを重視できる人が向いているでしょう。

#### Q 体力に自信がなくても大丈夫ですか？

A 体力に自信がない学生も入学しますが、教官の指導と本人の努力により卒業までに海上保安官として必要な体力が身につきます。また、夏期に実施される遠泳訓練に向けて、能力に応じてプールや海で水泳訓練を行います。泳げないで入学してきた学生も本人の努力次第で泳げるようになります。

#### Q 海上保安大学校、海上保安学校は自宅から通学できますか？

A 両校ともに、全員が校内にある学生寮で、団体生活を通じて協調性などを養うことを目的に生活しますので通学はできません。

#### Q 入学金、授業料は必要ですか？

A 海上保安大学校、海上保安学校ともに入学金や授業料は一切必要ありません。また、学内の生活に必要な制服や寝具類は貸与されます。ただし、教科書、食費、身の回り品などは自己負担です。

#### Q 学生は、休日、どのような生活をしていますか？

A 休日は、勉強、運動、趣味、旅行など、各自自由に過ごしています。外出は許可時間が定められていますが、平日・休日ともに毎日外出できます。申請をすれば休日の前日からの外泊もできます。

#### Q 海上保安大学校(本科)を卒業したら大卒と同じになるのでしょうか？

A 海上保安大学校(本科)の場合、卒業と同時に学士「海上保安」の学位が与えられます。また、大学院への入学資格を取得することができます。

#### Q 海上保安学校には大卒出身はどのくらいいますか？年齢が高いので人間関係が心配です。

A 年によってばらつきはありますが、高卒4割、専門学校卒4割、大卒2割程度です。2020年度(令和2年度)から海上保安学校の受験資格を高校卒業後12年未満までに拡大しました。そのため、年齢だけでなく、経歴も様々な方が集まりますが、同期として苦楽をともにするうちに、年齢や経歴に関係なく一体感を持って学生生活を送り、長所短所を補い合って相互の絆を深めていくことができます。

#### Q 卒業後は訓練期間なしで配属されるのでしょうか？

A 現場配属後も一定期間は初任者教育期間として、現場業務を経験しながら初任教育を受けてスキルアップをしていきます。

#### Q 配属先の希望は叶いますか？

A 希望が叶わないこともあります。配属先は毎年、本人の希望(勤務地、役職など)を勘案し決定されます。

#### Q 過去問はどうやったら入手できますか？

A 人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」に掲載されているほか、過去の試験問題を掲載した書籍が、書店などで販売されています。

#### Q 採用試験で有利になる資格はありますか？

A 学歴や取得している資格によって有利不利になることはありません。

#### Q 海上保安大学校と海上保安学校の採用試験の併願はできますか？

A 試験日が異なりますので、年齢などの受験資格を満たせば、併願可能です。

#### その他 待遇

##### 社会保障

国土交通省共済組合員としての保険が適用され、各種社会保障も充実しています。

##### 厚生

寮内の医務室に医師と看護師が勤務し、保健指導や診察を受けられます。また、寮内の売店も利用できます。

##### 休日

週休2日制で、原則土・日・祝日は休日。金・土曜日の夜など、休日の前日は外泊も可能です(許可制)。長期休暇\*もあり、この間は寮を閉鎖し、全学生が実家などに帰省することとなります。

※海上保安大学校：夏季4週間、冬季2週間、春季3週間。海上保安学校：夏季2週間、春・秋・冬季各1週間

# 海上保安庁の 職種紹介

## 現場最前線のスペシャリストたち

### 特殊救難隊



高度な知識・技術を必要とする特殊海難に対応する能力を有した海難救助のスペシャリスト。通称「トッキー」。

### 特殊警備隊



銃器等を使用した凶悪犯罪、シージャック、有毒ガス使用事案等高度な知識・技術を必要とする警備事案に対応するスペシャリスト。

### 機動防除隊



海上に排出された油、有害液体物質等の防除や海上火災の消火および延焼等の海上災害の防止に専門的な知識を持って対応するスペシャリスト。

### 潜水士



転覆船、沈没船等から要救助者の救出や行方不明者の潜水捜索等を行う。

### 国際捜査官



外国語(ロシア語、中国語、韓国語等)を駆使して外国人犯罪の捜査等を行う。

## その他の職種

### 特別警備隊



違法・過激な集団による海上デモや危険・悪質な事案、テロ警戒等に対応します。

### 携行武器指導官



携行武器の使用・知識・判断能力等の指導を行います。

### 運用司令センター 運用官



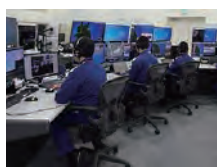
118番の受付、事件・事故発生時における船舶・航空機への指示、関係機関との連絡調整等を行います。

### 探索レーダー士



航空機に搭乗し、レーダー等を駆使して遭難船舶の発見等の捜索・監視業務を行います。

### 無操縦者航空機 運用官



無操縦者航空機の運用を指揮・監督し、取得した情報の処理を行います。

### 機動情報通信隊



災害現場等に出動し、本庁、管区海上保安本部へリアルタイムに現場映像を伝送します。

### 救急救命士・ 救急員



海難等により生じた傷病者を医療機関等へ搬送するまでの間、容態に応じた適切な救急救命処置または応急処置を実施します。

### 機動救難士



海難発生時にヘリコプターで出動し、迅速に吊上げ救助を行う航空救難の専門家です。

### 国際緊急救助隊



海外で大規模な災害が発生した場合、被災国政府等の要請に応じ、救助や災害復旧等を行います。

### 派遣協力官



海上保安庁モバイルコーポレーションチーム(MCT)に所属し、外国海上保安機関に派遣され、能力向上支援を行います。

### JICA長期専門家



発展途上国の海上保安分野に関する能力向上支援を行います。

### 外交官



アジアや欧米等諸外国の在外公館において外交官等として活躍します。  
※外交官として出向

### 国際組織犯罪 対策基地



密輸・密航等の国際的な組織犯罪を摘発するため、情報収集や分析、捜査活動を行います。

### ソマリア周辺 海域派遣捜査隊



海賊対処のために海上自衛隊の護衛艦に同乗し、海賊の逮捕等に備えつつ、自衛官とともに海賊行為の監視活動等を行います。

### 制圧指導官



現場の海上保安官の制圧訓練の指導にあたる「制圧術の専門家」です。

### 試験研究官



海上における犯罪捜査に関する試験・研究、鑑定・検査や船舶交通の安全の確保のために使用する機器の試験・研究を行っています。

### 犯罪情報技術 解析官



犯罪捜査の支援のため、事件現場等に出動し、航海計器、携帯電話等に残された電磁的記録の解析を行います。

### 鑑識官



捜査の現場において、科学的知識・技能を駆使して、指紋や血液等の重要な証拠の採取・分析を行います。

### 航行援助管理官



灯台や灯浮標等の航路標識の機能を維持するため、定期的に点検を行っているほか、航路標識に事故が発生した場合には、迅速に復旧作業を実施しています。

### 南極地域観測隊



南極地域観測隊の一員として、南極周辺海域の海底地形調査や潮汐観測等を行います。

### 海洋防災調査官



地震・火山噴火等への防災に役立てるため、海底地殻変動観測や海域火山の監視観測を行います。

### 大洋調査官



海底地形や地殻構造等の調査を実施し、取得したデータの解析および資料作成を行います。

### 海洋情報編集官



船舶の安全かつ効率的な航海に不可欠な海図や、海図を最新の状態に維持するための補正図等の編集を行います。

### 海洋調査官



海図作製のため、海底地形調査や潮位観測等を実施し、取得したデータの解析および資料作成を行います。

### サイバーセキュリティ 対策官



外部からのサイバー攻撃から海上保安業務を支える基幹システム等を守っています。

### 情報処理官



海上保安業務を支える基幹システム等の維持管理のため、運用状況を常時監視し、障害発生時には、復旧を行います。

### 教育機関教官



海上保安大学校等の教育機関において、学生に対し高度かつ専門的な授業を行います。

### 音楽隊



音楽を通じて、広報活動の効果を高めるとともに、当庁職員の士気の高揚を図ります。

### 出向機関:JAXA

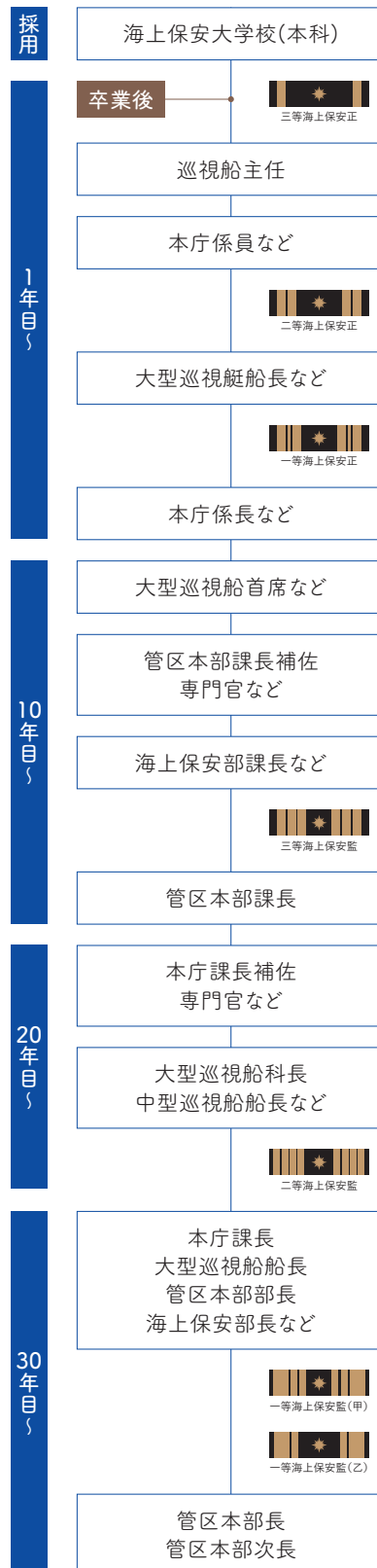


国土交通省や都道府県警察等、他機関で活躍します。

- 警備系
- 救難系・防災系
- 国際系
- 捜査系
- 航行安全系
- 整備系
- 海洋調査系
- システム系
- 教育
- 音楽
- 他機関への出向

# キャリアアップモデルコース

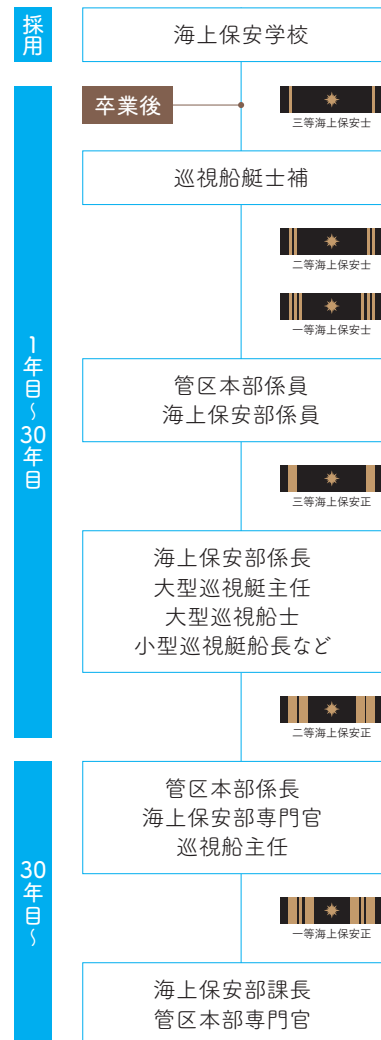
## 海上保安大学校 (本科) 卒業生の進路



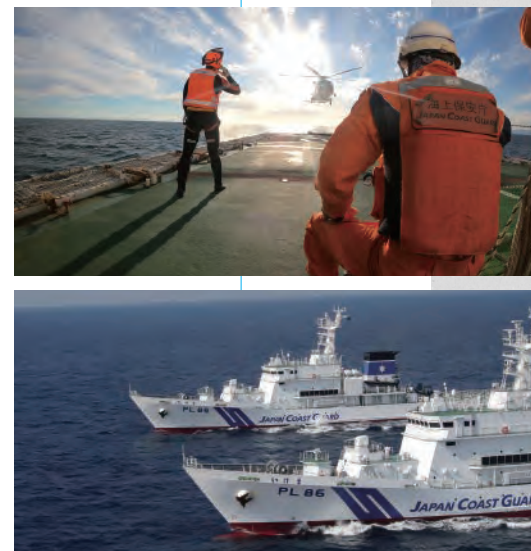
## 海上保安大学校(初任科) 特修科 修了生の進路



## 海上保安学校 卒業生の進路 (一般課程の例)



特修科(選考試験)  
特修科は、海上保安学校卒業生などを幹部登用するための制度です。  
研修内容：初級幹部に必要な素養を養うことを目的としており、  
海上保安大学校において、1年または半年の研修を受けます。



## 海上保安大学校

〒737-8512  
広島県呉市若葉町5番1号  
TEL:0823-21-4961  
最寄り駅:JR呉線「吉浦駅」



## 海上保安学校

〒625-8503  
京都府舞鶴市宇長浜2001  
TEL:0773-62-3520  
最寄り駅:JR舞鶴線「東舞鶴駅」



# 採用試験

試験の詳細は、  
当該年度の各試験受験案内を  
ご確認ください。

## 海上保安大学校



海上保安  
大学校〈本科〉  
受験案内

海上保安  
大学校〈初任科〉  
受験案内

### ● 2025年度採用試験日程

| 試験名                              | 受付期間                | 受験案内<br>HP掲載日 | 第1次試験日                  | 第1次試験<br>合格者発表 | 第2次試験日             | 最終<br>合格者発表      |
|----------------------------------|---------------------|---------------|-------------------------|----------------|--------------------|------------------|
| 海上保安大学校<br>学生採用試験<br>海上保安大学校〈本科〉 | 8/21(木)～<br>9/8(月)  | 6/11(水)       | 10/25(土)<br>および10/26(日) | 12/5(金)        | 12/12(金)           | 2026/<br>1/15(木) |
| 海上保安官<br>採用試験<br>海上保安大学校〈初任科〉    | 2/20(木)～<br>3/24(月) | 2/3(月)        | 5/25(日)                 | 6/25(水)        | 7/8(火)～<br>7/15(火) | 8/12(火)          |

### ● 受験資格

|     |   |                                                                                                           |
|-----|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本科  | ア | 2025(令和7)年4月1日において高等学校または中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して<br>2年を経過していない者および2026(令和8)年3月までに高等学校または中等教育学校を卒業する見込みの者    |
|     | イ | 高等専門学校の第3学年の課程を修了した者であって、2025(令和7)年4月1日において当該課程を修了した日の<br>翌日から起算して2年を経過していない者など人事院が(ア)に掲げる者と同等の資格があると認める者 |
| 初任科 |   | 1995(平成7)年4月2日以降の生まれで、大学(短期大学を除く。以下同じ)を卒業した者および2026(令和8)年3月までに<br>大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者  |

### ● 試験種目・試験の方法

|     | 試験            | 種目                |                          |                  |                  |             |
|-----|---------------|-------------------|--------------------------|------------------|------------------|-------------|
|     | 第1次試験         | 基礎能力試験<br>(多肢選択式) | 学科試験<br>(多肢選択式)<br>数学・英語 | 学科試験(記述式)        |                  | 作文試験        |
| 本科  |               |                   |                          | 数学               | 英語               |             |
|     | 出題数<br>(解答時間) | 40題<br>(1時間30分)   | 26題<br>(2時間)             | 3-6題<br>(1時間20分) | 2-3題<br>(1時間20分) | 1題<br>(50分) |
|     | 配点比率          | 7分の2              | 7分の2                     | 7分の1             | 7分の1             | *           |
|     | 第2次試験         | 人物試験              | 身体検査                     | 身体測定             | 体力検査             |             |
|     | 配点比率          | 7分の1              | *                        | *                | *                |             |
| 初任科 | 第1次試験         | 基礎能力試験<br>(多肢選択式) | 課題論文試験                   |                  |                  |             |
|     | 出題数<br>(解答時間) | 30題<br>(1時間50分)   | 2題<br>(3時間)              |                  |                  |             |
|     | 配点比率          | 6分の3              | 6分の2                     |                  |                  |             |
|     | 第2次試験         | 人物試験              | 身体検査                     | 身体測定             | 体力検査             |             |
|     | 配点比率          | 6分の1              | *                        | *                | *                |             |

※「配点比率」欄に\*が表示されている試験種目は可否の判定のみを行い、その他の試験科目は得点化しています

試験の詳細は人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」でも確認できます  
お問い合わせ先▶海上保安庁総務部教育訓練管理官付 試験募集係／TEL 03-3580-0936



ここが  
変わります!

2025年度採用試験から、試験制度の一部が下記のとおり変更となります

- 全採用試験共通: 身長および体重にかかる制限の廃止 ※航空課程を除く
- 海上保安学校学生採用試験: 海洋科学課程の試験科目の見直し(物理の削除)

## 海上保安学校



海上保安学校  
〈4月期〉  
受験案内

海上保安学校  
〈10月期〉  
受験案内

### ● 2025年度採用試験日程

| 試験名                                   | 受付期間                | 受験案内<br>HP掲載日       | 第1次試験日  | 第1次試験<br>合格者発表 | 第2次試験日         | 最終合格者<br>発表                     |
|---------------------------------------|---------------------|---------------------|---------|----------------|----------------|---------------------------------|
| 学生採用試験<br>(4月期)<br>海上保安学校             | 一般課程                | 7/11(金)～<br>7/24(木) | 6/11(水) | 9/28(日)        | 10/15(水)       | 10/21(火)～10/30(木)               |
|                                       | 管制課程                |                     |         |                |                | 11/25(火)                        |
|                                       | 海洋科学課程              |                     |         |                |                | 10/21(火)～10/30(木)<br>発表11/25(火) |
|                                       | 航空課程                |                     |         |                |                | 2026/<br>1/15(木)                |
| 海上保安学校学生<br>採用試験(特別)(10月期)<br>※一般課程のみ | 2/20(木)～<br>3/13(木) | 2/3(月)              | 5/11(日) | 5/30(金)        | 6/4(水)～6/25(水) | 7/25(金)                         |

### ● 受験資格

|      |   |                                                                                                             |
|------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月期  | ア | 2025(令和7)年4月1日において高等学校または中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して<br>12年を経過していない者および2026(令和8)年3月までに高等学校または中等教育学校を卒業する見込みの者     |
|      | イ | 高等専門学校の第3学年の課程を修了した者であって、2025(令和7)年4月1日において当該課程を修了した日の<br>翌日から起算して12年を経過していない者など人事院が(ア)に掲げる者と同等の資格があると認める者  |
| 10月期 | ア | 2025(令和7)年4月1日において高等学校または中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して<br>13年を経過していない者および2025(令和7)年9月までに高等学校または中等教育学校を卒業する見込みの者     |
|      | イ | 高等専門学校の第3学年の課程を修了した者であって、2025(令和7)年4月1日において当該課程を修了した日の<br>翌日から起算して13年を経過していない者など、人事院が(ア)に掲げる者と同等の資格があると認める者 |

### ● 試験種目・試験の方法

|        | 試験        | 種目            |                    |      |      |
|--------|-----------|---------------|--------------------|------|------|
|        | 第1次試験     | 基礎能力試験(多肢選択式) | 作文試験               |      |      |
| 一般課程   | 出題数(解答時間) | 40題(1時間30分)   | 1題(50分)            |      |      |
|        | 配点比率      | 4分の3          | *                  |      |      |
|        | 第2次試験     | 人物試験          | 身体検査               | 身体測定 | 体力検査 |
|        | 配点比率      | 4分の1          | *                  | *    | *    |
|        | 第1次試験     | 基礎能力試験(多肢選択式) | 学科試験〈数学・英語〉(多肢選択式) |      |      |
| 航空課程   | 出題数(解答時間) | 40題(1時間30分)   | 26題(2時間)           |      |      |
|        | 配点比率      | 8分の3          | 8分の3               |      |      |
|        | 第2次試験     | 身体検査          | 身体測定               | 体力検査 |      |
|        | 配点比率      | *             | *                  | *    |      |
|        | 第3次試験     | 人物試験          | 身体検査               | 適性検査 |      |
| 管制課程   | 配点比率      | 8分の2          | *                  | *    | *    |
|        | 第1次試験     | 基礎能力試験(多肢選択式) | 学科試験〈数学・英語〉(多肢選択式) |      |      |
|        | 出題数(解答時間) | 40題(1時間30分)   | 26題(2時間)           |      |      |
|        | 配点比率      | 8分の3          | 8分の3               |      |      |
|        | 第2次試験     | 人物試験          | 身体検査               | 身体測定 | 体力検査 |
| 海洋科学課程 | 配点比率      | 8分の2          | *                  | *    | *    |
|        | 第1次試験     | 基礎能力試験(多肢選択式) | 学科試験〈数学・英語〉(多肢選択式) |      |      |
|        | 出題数(解答時間) | 40題(1時間30分)   | 26題(2時間)           |      |      |
|        | 配点比率      | 8分の3          | 8分の3               |      |      |
|        | 第2次試験     | 人物試験          | 身体検査               | 身体測定 | 体力検査 |
|        | 配点比率      | 8分の2          | *                  | *    | *    |

※「配点比率」欄に\*が表示されている試験種目は可否の判定のみを行い、その他の試験科目は得点化しています